

火柱高く小正月の左義長神事 しめ飾りなど焼く、八雲神社

正月のしめ飾りや古いお札などを燃やす、どんど焼、朝、鎌倉市内の神社などで、きとも呼ばれる左義長神事、行われた。



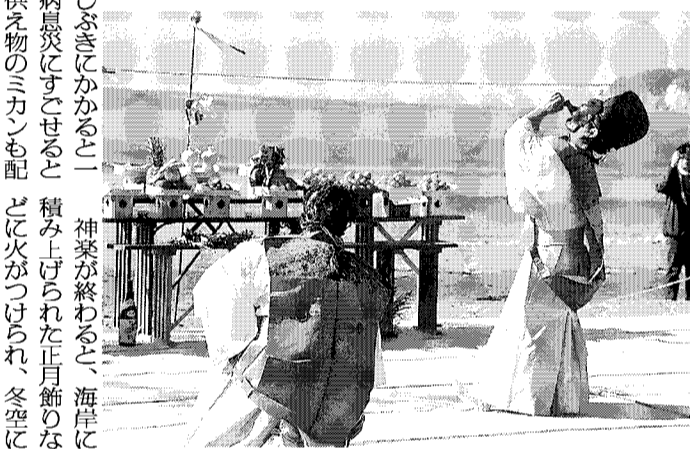
大町の八雲神社(小坂周防宮司)は境内広場で、高く積まれたしめ飾りなどを焼いた。写真、折とうのあと、小坂宮司が、本殿から除灯にいられたローソクの浄火で点火した。

地元の神輿会の人たち35人が総出で手運った。当日、正月飾りを持参する人も多く、おおいぎわい。振る舞われたモチ入りの汁粉を味わいながら、火柱の正月を見送った。

大漁を祈って潮神楽 1月11日、材木座海岸で

大漁と海上安全を祈願する「潮神楽」が1月11日、材木座海岸で、近所の人たちの保育園児なども訪れ、にぎわった。穏やかな晴れた。海向かって、設けられた祭壇に酒など供え物がならべられ、氏子らが玉ぐしをさげたと、3人の神職が笛と太鼓でそれぞれ神楽を奉納。続いて四方に弓を射ら

ら、鉄釜の湯を湯釜で撒き散らした。おまじない、海岸に積み上げられた正月飾りなど、火がつけられ、冬空に白い煙が立ち上った。



「家内安全、商売繁盛を祈願、防犯の呼びかけなども祈り申し上げます」の口上、行われ、朝から人が絶えなかつた。ドーン、ドーン、大にぎわいだつた。「と威勢のいい太鼓の音。金色の立烏帽子をつけ、や境内に点灯されていた紅た福娘が小判や宝船、打ち白のちまもどりほら出した。小槌などの縁起物をつ

けた。福笹を手渡す。写真、鎌倉七福神の一つ、夷神を祭る本覚寺のえびす大祭が1月10日、行われた。

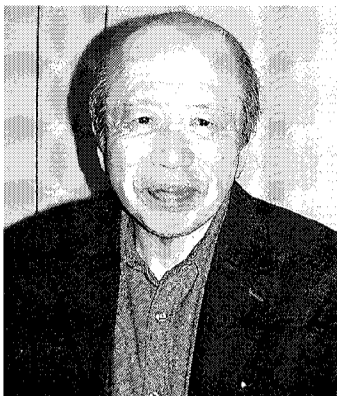
福笹は、夷堂裏のホウオウチクに縁起物をつけたもので3千円から1万円で購入求められた。境内ではもちつきや鎌倉署の交通安全

勉、若林宏司、米沢日出良で、大町5丁目自治会(七男、吉原弘晃、吉原浩、宗、島崎次会長、消防協力会、市田和弘) LPGA防火協力会(飯島栄代表)

ひよ

連載百回を超えた 「かまくら今昔抄」

清田昌弘さん



1回の掲載は1行12字で170行前後。4百字詰め原稿用紙にして5枚格化させた。

そのころ出版した「私板かまくら今昔抄」という冊子のあとがきに「二片の通達で、住民の生活感情の一部ともなっている歴史的な地名が変更されること、不当性は、鎌倉の風致破壊と本質的に変わらぬ大問題」と、地元の当時の住居表示変更の無神経さを憤つている。

この郷土への熱い思いが、清田さんを駆り立て、温かみのある連載になつている。行政側はこの鎌倉の歴史観を常に念頭に

入れて、取り組むことは、当然と思う。

「鎌倉は確かに中世の日本史に新たな時代を残した。しかしその後のこの町に生まれ育つた。5人兄弟争いを挟んだ近代史も、後世に伝えなければならぬ」

根気のいる執筆だが、清田さんにまもってほしい。清田さんにまもってほしい。清田さんにまもってほしい。

「こんなにくらぶとは思っていません。これを決めた資料からテーマも読者の支え、励ましがあったから、やっつけたい」と思っている。

鎌倉朝日2面に連載中の「かまくら今昔抄」が05年12月2日付の新聞で100回目を迎える。2月2日号から新たな一歩となる101回目がスタートした。

実直な清田さんが、根を詰めて執筆している文章や、積み重ねた資料などから、新しい発見をす

る読者もいて、新聞の発行毎に反響がある。

厳寒の中で園児も防火に一役 鎌倉の出初め式、表彰や放水も

新春恒例の鎌倉市消防出初め式が、1月6日午前10時から、山崎水質浄化センター1広場で行われた。当時、園児も参加した。消防関係者約500人が参加し、市民約1千人が見学した。

石渡市長らの式辞、各種表彰のあと鎌倉・大船高職、消防本部の37隊のしし車の操法など、園児も参加した。会場には消防12分団(柏木博明団長)の協力の豚汁、東京電力の甘酒なども用意され喜ばれた。

主な表彰者次の通り、敬称略。事表彰 大橋伸行、鈴木敏一、斎藤良成、山田信和、宮本英光、山田浩雄、小田扇

にぎやかに地域の伝統紡ぐ
白山神社で大注連祭

山あいの神社に、にぎやかに響く掛け声。男性らがワラの束を抱え、長さ6尺のムカデをかたどる注連

1月8日、今泉の鎮守・白山神社で大注連祭が行われた。白山神社は源頼朝が京都の鞍馬寺に参ったとき、もらい受けたという毘沙門天像をまつり、大ムカデはこの守護神とされる。

胴体の部分がでけると鳥居の前のシイとモチの木の間にかけ、短い縄を七本・五本・三本ずつ組み合わせた「足」12組をくくりつける。その下で今年の平安や豊稔を祈る神事を行い、古い注連縄を燃やした。威勢よく炎が上がる。見物客らも地元の人の声を交わしつつ暖を探っていた。

「家内安全、商売繁盛を祈願、防犯の呼びかけなども祈り申し上げます」の口上、行われ、朝から人が絶えなかつた。ドーン、ドーン、大にぎわいだつた。「と威勢のいい太鼓の音。金色の立烏帽子をつけ、や境内に点灯されていた紅た福娘が小判や宝船、打ち白のちまもどりほら出した。小槌などの縁起物をつ

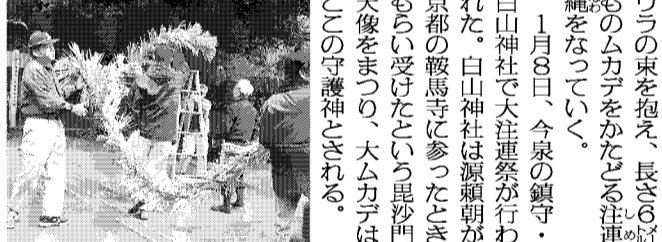
けた。福笹を手渡す。写真、鎌倉七福神の一つ、夷神を祭る本覚寺のえびす大祭が1月10日、行われた。

福笹は、夷堂裏のホウオウチクに縁起物をつけたもので3千円から1万円で購入求められた。境内ではもちつきや鎌倉署の交通安全

勉、若林宏司、米沢日出良で、大町5丁目自治会(七男、吉原弘晃、吉原浩、宗、島崎次会長、消防協力会、市田和弘) LPGA防火協力会(飯島栄代表)



新春恒例の鎌倉市消防出初め式が、1月6日午前10時から、山崎水質浄化センター1広場で行われた。当時、園児も参加した。消防関係者約500人が参加し、市民約1千人が見学した。



山あいの神社に、にぎやかに響く掛け声。男性らがワラの束を抱え、長さ6尺のムカデをかたどる注連

1月8日、今泉の鎮守・白山神社で大注連祭が行われた。白山神社は源頼朝が京都の鞍馬寺に参ったとき、もらい受けたという毘沙門天像をまつり、大ムカデはこの守護神とされる。

胴体の部分がでけると鳥居の前のシイとモチの木の間にかけ、短い縄を七本・五本・三本ずつ組み合わせた「足」12組をくくりつける。その下で今年の平安や豊稔を祈る神事を行い、古い注連縄を燃やした。威勢よく炎が上がる。見物客らも地元の人の声を交わしつつ暖を探っていた。

主な表彰者次の通り、敬称略。事表彰 大橋伸行、鈴木敏一、斎藤良成、山田信和、宮本英光、山田浩雄、小田扇

にぎやかに地域の伝統紡ぐ
白山神社で大注連祭

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
* 香道・茶道・書道教室の生徒を募集しています
鎌倉に蘇える 伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081(代)

大切にします……「心」からのおもてなし。
CHINESE-RESTAURANT
中国料理 華正楼
●鎌倉店/鎌倉長谷大仏前 ☎0467(22)0280(代) ●横浜中華街/本店 ☎045(681)2918(代) 新館 ☎045(661)0661(代)

地元の食材に
こだわった
美味しい
手づくり弁当
パニー
0120-22-0821
鎌倉市材木座6-5-26
TEL 0467-22-1188
■営業時間 7:30~19:30 (木曜日は18:00まで)

タクシーのご用命は24時間受付
TEL. 0467-44-2214
京急交通タクシー

心なごお銘菓の数々、ご家庭での憩いのひと時に、
また贈物にご用命下さいませ。
神奈川県指定銘菓 **あどさい**
十二所バス停先 **鎌倉紅谷** ☎(25)2187

展示即売会場
2F 貸画廊(75m)
3F 貸教室
ギャラリー 島森
●予約申込み・問合せ ☎0467(24)3160 島森商事(株)

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。
雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー
鎌倉駅東口前 ☎0467-22-0266
大船駅東口前 ☎0467-46-3841
逗子駅横浜銀行前 ☎046-871-6611
東逗子マルエツ店内 ☎046-871-0590
PATAYASE内 ☎0467-70-2771
島森書店